

科目名	歴史学	科目コード	50465
-----	-----	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	田中 聡（一般教育科）
単位数・区分	2単位・選択
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義60】
教科書	なし
補助教材	プリント
参考書	鳥海靖著『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折＝』（放送大学教育振興会）

【A．科目の概要と関連性】

明治・大正・昭和の日本の歩みを概観し，21世紀を生きる日本人としての素養を培うことを目的とする．講義に衝撃映像をまじえて基本事項を解説する．

関連する科目：歴史，現代社会，歴史学，法学，社会学，経済学，哲学

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
明治・大正・昭和の日本の歩みを理解する	80%	a1
授業で解説された事項について，意見や感想を持ち，それを表明することができる．	20%	a1

【C．履修上の注意】

1・2年次に使用した世界史B・日本史Bの教科書などで、明治・大正・昭和の基本事項を整理しておくことが望ましい．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（80%）【内訳：前期末35，後期末45】

その他の試験（0%）

レポート（0%）

その他（20%）【コメントカードの提出】

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	ガイダンス	
2	明治（近代国家の形成）	
3	明治（日清戦争）	
4	明治（日露戦争）	
5	「アジアの希望と失望」	
6	大正（第一次世界大戦と日本）	
7	大正（国際協調と軍縮の進展）	
8	昭和（満州事変から国際的孤立化へ）	
9	「カラー映像で見る昭和初期の日本 前編」	
10	昭和（日中戦争）	
11	「証言 侵略戦争 - 人間から鬼へ,そして人間へ - 」	
12	昭和（太平洋戦争）	
13	昭和（太平洋戦争）	
14	「アメリカの敵 日本」	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説とまとめ	

後期

週	内容	備考
1	昭和（日本の敗北）	
2	「私たちは忘れない」	
3	昭和（占領下の日本）	
4	昭和（占領下の日本）	
5	「東京裁判」	
6	昭和（独立の回復）	
7	昭和（日本の自立と経済成長）	
8	昭和（日本の自立と経済成長）	
9	昭和（日本の自立と経済成長）	
10	昭和（日本の自立と経済成長）	
11	「満蒙開拓団 ある家族の軌跡」	
12	「60年目の対話 - フィリピン裁かれた対日協力者たち - 」	
13	「生きぬく 小野田寛郎」	
14	「沈黙の歴史をやぶって - 女性国際戦犯法廷の記録 - 」	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説とまとめ	